

**製品名: API5 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07010**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	58kDa

**抗原情報**

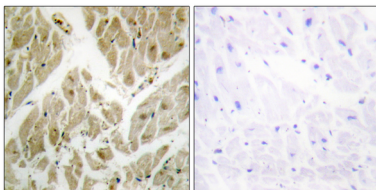
遺伝子名	API5
別名	API5; MIG8; Apoptosis inhibitor 5; API-5; Antiapoptosis clone 11 protein; AAC-11; Cell migration-inducing gene 8 protein; Fibroblast growth factor 2-interacting factor; FIF; Protein XAGL
遺伝子 ID	8539.0
SwissProt ID	Q9BZZ5
免疫原	抗血清はヒト API-5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 421-470

**背景**

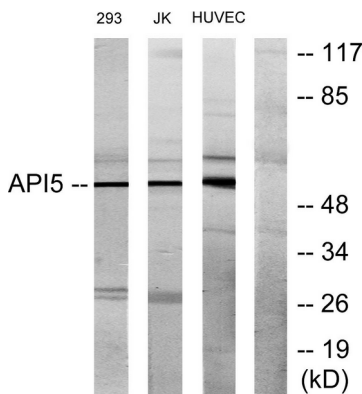
この遺伝子は、増殖因子枯渇後のアポトーシスを阻害するアポトーシス阻害タンパク質をコードしています。このタンパク質は転写因子 E2F1 誘導性アポトーシスを抑制するだけでなく、アポトーシス DNA 断片化に関する核因子である Acinus と相互作用し、負に制御します。Acinus の枯渇は、化学療法薬の細胞傷害作用を増強します。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2011 年 8 月]、代替製品：追加のアイソフォームが存在するようです、ドメイン：FGF2 への結合には、N 末端（アミノ酸 96~107）と C 末端（アミノ酸 274~311）の 2 つの領域が必要です。機能：タンパク質の組み立てに参与する可能性のある抗アポトーシス因子。ACIN1 を負に制御します。ACIN1 に結合し、CASP3 からの ACIN1 の切断および ACIN1 を介した DNA 断片化を抑制します。また、E2F1 誘導性アポトーシスを効率的に抑制することが知られています。その枯渇は化学療法薬の細胞傷害作用を増強します。配列注意：翻訳により N 末端が短縮されます。類似性：API5 ファミリーに属します。細胞内局在：主に核内。細胞質内にも存在する可能性があります。サブユニット：ホモオリゴマー。FGF2 および ACIN1 と相互作用します。組織特異性：心臓、脳、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、脾臓を含む、試験したすべての組織で発現します。心臓、脾臓、胎盤で最も高いレベルを示します。いくつかの癌で高発現します。非小細胞肺癌では、腺癌よりも扁平上皮癌で優先的に発現します。

## 研究分野

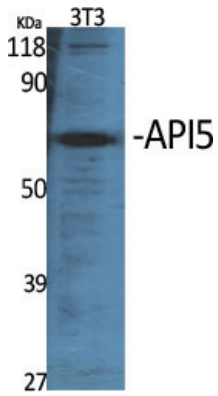
## 画像データ



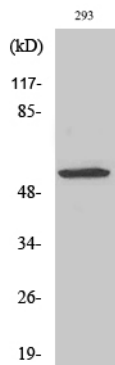
API-5 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



API-5 抗体を用いた 293 細胞、Jurkat 細胞、HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーン合成ペプチドでブロッキングされている。



API5 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



API5 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた HuvEc 細胞のウェスタンブロット解析